

分野	53	循環型社会
施策	531	低炭素社会への転換
5年後の目標	省エネルギー、再生可能エネルギーの普及など、低炭素社会への取り組みが進み、環境への負荷がさらに低減している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	省エネ・省CO ₂ 整備推進事業		会計	款	項	目	2,472,536	環境政策室
			一般	4	1	8		
事業の概要								
市域全体で地球温暖化問題に取り組むため、地球温暖化対策実行計画に基づく施策展開と進捗管理を進めます。市域の温室効果ガス排出量の削減のため、省エネルギー及び再生可能エネルギー設備の情報提供や設置助成を実施します。								


平成28年度の取組							
D (取組)	指標	1世帯当たりの平均電気使用量				単位	kwh/年
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	4,475(平成26年度)	目標	4,325	4,250	4,175	4,100	4,025
		実績	—				
<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策実行計画の進捗管理を実施しました。 ・平成26年度から開始した薪ストーブ購入設置補助金、西山産薪購入補助金に加えて、平成28年7月1日から住宅エコリフォーム補助金、10月1日から住宅用自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金を開始し、地球温暖化防止に寄与する市民の活動を支援しています。 ・省エネナビモニター事業の実施による省エネの取組み内容をホームページ等に掲載し、周知を図っています。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成28年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		達成度合 B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から新たな補助制度を開始し、地球温暖化防止に寄与する活動の支援をおこなっています。 ・設備の導入や省エネの取組みの実践により、温室効果ガス排出量の削減を進めています。
課題等	・地球温暖化防止の取組みを広めていくため、啓発を継続する必要があります。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地球温暖化防止に寄与する設備等の導入に対して補助を実施し、多くの方が導入できるようにしていきます。 ・節電などの省エネの取組みを市が率先して行うとともに、市民にも省エネに取り組んで貰えるよう、情報発信していきます。

分野	53	循環型社会
施策	531	低炭素社会への転換
5年後の目標	省エネルギー、再生可能エネルギーの普及など、低炭素社会への取り組みが進み、環境への負荷がさらに低減している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	環境への意識向上推進事業		会計	款	項	目	80,266	環境政策室
			一般	4	1	8		
事業の概要								
低炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルをあらゆる世代の人に浸透させるため、市民、事業者、学校等と連携しながら環境に関する様々な広報、イベント、学習会の開催などに取り組みます。また、公共交通機関の利用などエコライフの啓発にも取り組むとともに、環境問題に取り組む団体や事業者に対しても活動を支援します。								

平成28年度の取組								
D (取組)	指標	環境学習会等の開催回数・参加者数				単位	回 人	
	現状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	9回 276人 (平成26年度)	目標	9	9	9	10	10	
		実績		280	285	290	310	315
				8				
<p>・環境の都づくり会議と共催で環境行政をテーマに「対話のわ」を実施したところ小学生から高齢の方まで幅広い参加がありました。また長岡京環境検定でも小学生の受検、老人会による団体受検がありました。</p> <p>・市内の小中学校だけでなく、立命館高校の生徒にも本市の環境に興味を持ってもらうことができました。</p> <p>・親子でも参加できるものとしてスターウォッチングやバードウォッチングなどを開催し、普段見過しがちな身近な自然を改めて認識してもらう機会を設けました。</p> <p>・交通政策課の交通安全の啓発と一緒にエコドライブの啓発を実施しました。</p>								
								

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・広報、イベント、学習会の開催により、幅広い年代に環境について考えてもらうことができました。 ・交通政策課の交通安全啓発と一緒にエコドライブの啓発を行うことで、人にも環境にも優しい運転の周知が図れました。 	—
	課題等	・現役世代など活動への参加の少ない世代に対し、いかに啓発し、参加いただける機会づくりをしていくかが課題です。			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	・今後も幅広い年代に向けてイベントなどを開催します。また環境はさまざまな事業と関連があるため、他部署とも連携してイベント等を行うことで、啓発や周知の場所を広げていきます。